



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月29日

上場会社名	広栄化学株式会社	上場取引所	東
コード番号	4367	URL	https://www.koeichem.com/
代表者（役職名）	代表取締役社長	（氏名）	西本 麗
問合せ先責任者（役職名）	理事経理室長	（氏名）	浜辺 昭彦
四半期報告書提出予定日	2020年11月10日	配当支払開始予定日	2020年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無	： 無		
四半期決算説明会開催の有無	： 無		

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年3月期第2四半期	8,789	△5.0	1,024	19.7	1,094	20.7	1,024	64.2
2020年3月期第2四半期	9,256	△1.1	855	16.0	906	1.4	623	0.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	209.38	—
2020年3月期第2四半期	127.51	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2021年3月期第2四半期	33,030	21,661	65.6
2020年3月期	29,802	20,997	70.5

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 21,661百万円 2020年3月期 20,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	18,000	△2.9	1,500	△19.1	1,600	△20.7	1,700	8.4	347.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	4,900,000株	2020年3月期	4,900,000株
2021年3月期2Q	8,774株	2020年3月期	8,754株
2021年3月期2Q	4,891,239株	2020年3月期2Q	4,891,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界的な経済活動の停滞の影響により、輸出や生産が大幅に減少し、個人消費も急減するなど、きわめて厳しい状況が続きました。足元では、経済活動が徐々に再開されつつあるものの、新型コロナウイルス感染症が再拡大する中、企業活動や個人消費の回復は長期化することが予想され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社製品関連分野におきましては、ファイン製品関係は、新型コロナウイルス感染症治療薬原材料の販売など、医薬関連需要が堅調に推移しましたが、機能性化学品及びその他ファイン製品は、国内関連需要が減少しました。化成品関係では、新型コロナウイルス感染症の影響から塗料・樹脂など国内関連需要が大幅に減少しました。

このような情勢のもとで、当社は、売価是正、拡販に注力するとともに、生産の合理化・効率化による製造原価低減など一層のコスト削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は前年同四半期に比べ5.0%減収の87億89百万円となりました。利益面につきましては、新型コロナウイルス感染症治療薬原材料など、収益性が高い医薬中間体の販売増加や原料コストの低下などにより、営業利益は10億24百万円(前年同四半期比19.7%増)、経常利益は10億94百万円(前年同四半期比20.7%増)となりました。四半期純利益につきましては、株式売却による特別利益4億55百万円を計上した結果、10億24百万円(前年同四半期比64.2%増)となりました。

(部門別売上高)

(単位：百万円)

部門	製品グループ	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
ファイン製品部門			%		%		%
	医薬関連化学品	2,883	31.1	3,809	43.3	926	32.1
	機能性化学品	(注)3,544	38.3	3,291	37.5	△253	△7.1
	その他	1,143	12.4	694	7.9	△449	△39.3
	計	7,571	81.8	7,794	88.7	223	3.0
化成品部門	多価アルコール類	1,553	16.8	900	10.2	△652	△42.0
	その他	(注)132	1.4	93	1.1	△38	△29.2
	計	1,685	18.2	994	11.3	△691	△41.0
	合計	9,256	100.0	8,789	100.0	△467	△5.0

(注) 従来、化成品部門のその他に含めていた自製ホルマリンの売上高は、第1四半期会計期間からファイン製品部門の機能性化学品に含め表示しております。これに伴い、前第2四半期累計期間における自製ホルマリンの売上高216百万円を、化成品部門のその他からファイン製品部門の機能性化学品に組替えております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、原価差異の繰延処理による流動資産（その他）が増加したものの、売掛金及び預け金の減少により、前事業年度末に比べ76百万円減少の136億94百万円となりました。

固定資産は、ファイン製品製造設備の新設など建設仮勘定の増加により、前事業年度末に比べ33億4百万円増加の193億35百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ32億27百万円増加し、330億30百万円となりました。

(負債)

流動負債は、買掛金が減少したものの、設備関係未払金及び未払補修費の増加などにより、前事業年度末に比べ5億78百万円増加の66億59百万円となりました。

固定負債は、ファイン製品製造設備の資金調達により長期借入金が増加し、前事業年度末に比べ19億85百万円増加の47億9百万円となりました。

この結果、負債合計は113億68百万円となり、前事業年度末に比べ25億63百万円増加しました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより、前事業年度末に比べ6億64百万円増加の、216億61百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の70.5%から65.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表いたしました2021年3月期通期業績予想について修正しております。

詳細につきましては、2020年10月29日付「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	288	576
売掛金	5,419	5,061
商品及び製品	4,413	4,589
仕掛品	1,330	1,399
原材料及び貯蔵品	1,555	1,443
預け金	400	—
その他	363	624
流動資産合計	13,770	13,694
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,916	5,837
機械及び装置（純額）	4,478	4,405
建設仮勘定	1,483	4,487
その他（純額）	1,714	2,337
有形固定資産合計	13,592	17,068
無形固定資産	163	162
投資その他の資産		
投資有価証券他	2,279	2,109
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	2,274	2,105
固定資産合計	16,031	19,335
資産合計	29,802	33,030
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,660	2,175
短期借入金	850	850
未払法人税等	572	499
賞与引当金	155	155
設備撤去引当金	153	96
受注損失引当金	28	1
その他	1,660	2,881
流動負債合計	6,080	6,659
固定負債		
長期借入金	—	2,000
退職給付引当金	1,869	1,871
受注損失引当金	21	55
その他	833	782
固定負債合計	2,724	4,709
負債合計	8,805	11,368

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金	1,551	1,551
利益剰余金	16,111	16,890
自己株式	△13	△13
株主資本合計	19,991	20,770
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,005	890
評価・換算差額等合計	1,005	890
純資産合計	20,997	21,661
負債純資産合計	29,802	33,030

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	9,256	8,789
売上原価	6,975	6,218
売上総利益	2,281	2,571
販売費及び一般管理費		
発送費	181	163
給料手当及び賞与	459	517
退職給付費用	34	29
試験研究費	428	454
その他	322	381
販売費及び一般管理費合計	1,425	1,546
営業利益	855	1,024
営業外収益		
受取配当金	27	24
受取補償金	91	65
雑収入	3	2
営業外収益合計	122	92
営業外費用		
支払利息	2	4
為替差損	17	15
固定資産除却損	50	—
雑損失	1	2
営業外費用合計	71	22
経常利益	906	1,094
特別利益		
投資有価証券売却益	—	455
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	455
特別損失		
固定資産除却損	—	62
特別損失合計	—	62
税引前四半期純利益	906	1,487
法人税等	283	463
四半期純利益	623	1,024

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	906	1,487
減価償却費	674	766
有形固定資産除却損	50	62
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△455
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14	2
設備撤去引当金の増減額 (△は減少)	—	△57
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	—
受取利息及び受取配当金	△28	△24
受取補償金	△91	△65
支払利息	2	4
売上債権の増減額 (△は増加)	325	358
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△666	△132
仕入債務の増減額 (△は減少)	△783	△485
未収消費税等の増減額 (△は増加)	94	△35
その他	156	91
小計	653	1,523
利息及び配当金の受取額	28	24
利息の支払額	△2	△4
法人税等の支払額	△207	△526
営業活動によるキャッシュ・フロー	471	1,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	18	0
有形固定資産の取得による支出	△1,287	△3,409
無形固定資産の取得による支出	△44	△23
投資有価証券の売却による収入	—	457
その他	111	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,202	△2,881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20	—
長期借入れによる収入	—	2,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5	△0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△146	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132	1,754
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△867	△112
現金及び現金同等物の期首残高	2,424	688
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,557	576

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生する原価差異等につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

2. 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。